

「打ち切り誤差」とは，一般的には，計算回数を抑えることによって生じる誤差のことをさします．このことから，2.4.2(1)「数値の表現」における「打ち切り誤差」という表現には誤解をまねく部分がありますので，ここでは，より広い意味の「丸め誤差」という表現で統一します．

これにより，122頁の最後の3行，123頁の図2.54および図2.54の下3行を次のように訂正します．

一方，精度についても，無限の桁数を表すことはできず，数値を途中の桁で打ち切らなければならない．この打ち切ることによって生じる誤差を丸め誤差という（図2.54）．

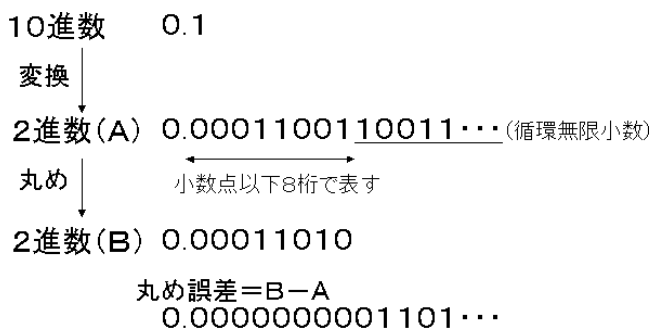


図 2.5 4 丸め誤差

ハードウェア上の制限からビット数が少ない場合には，丸め誤差は大きくなり，プログラムにおいて，10進数の0.1を10回加えても1.0にならないような問題が生じることになる．